

第1回 経営講習会



実務に活かすキャッシュフロー経営セミナーの開催ご案内

「キャッシュフローこそが経営の真実の姿を表す」と言われ、近年キャッシュフロー経営が注目されています。資金の流れを的確に把握して、迅速に経営に反映させることは、企業の存続、成長のための必須条件でしょう。

本セミナーでは、自社の決算データを実際にパソコンに入力して、キャッシュフロー計算書を作成します。また実際にシミュレーションを行って、キャッシュフローの意味を理解し、その活用方法、経営事項審査との関係などについて、実習いたします。また、キャッシュフローで事業価値を測定するDCF法についても解説いたします。パソコンの操作はサポートスタッフがお手伝いいたしますので、ふるってご受講ください。どうぞ、ご案内申し上げます。

開催日時

平成17年10月21日（金）9時30分～16時30分
※9時より受付開始

場 所

工学院大学28階 第1会議室（新宿区西新宿1-24-2 電話（03）3342-1211）

対 象 者

中堅・中小建設業の経営者、事業後継者、経営幹部、経営企画部門担当者

定 員

30社（1社2名様までお申込みできます）

※パソコンは1社、1台をご用意いたします。

※パソコン操作は、サポートスタッフがお手伝いいたしますので、ご安心ください。

※経営者と担当者など、1社2名様まで受講が可能です。

ご持参頂くもの

筆記用具、電卓、直近3期分の決算書（変更届に添付された、様式第十五号「貸借対照表」、第十六号「損益計算書」「完成工事原価計算書」、様式第十七号「利益処分」、様式第二十五号の七「兼業事業売上原価報告書」）及び「経営状況分析申請書」

講 師

高田 守康氏

（日本マルチメディア・エクイップメント(株)代表取締役）

内 容

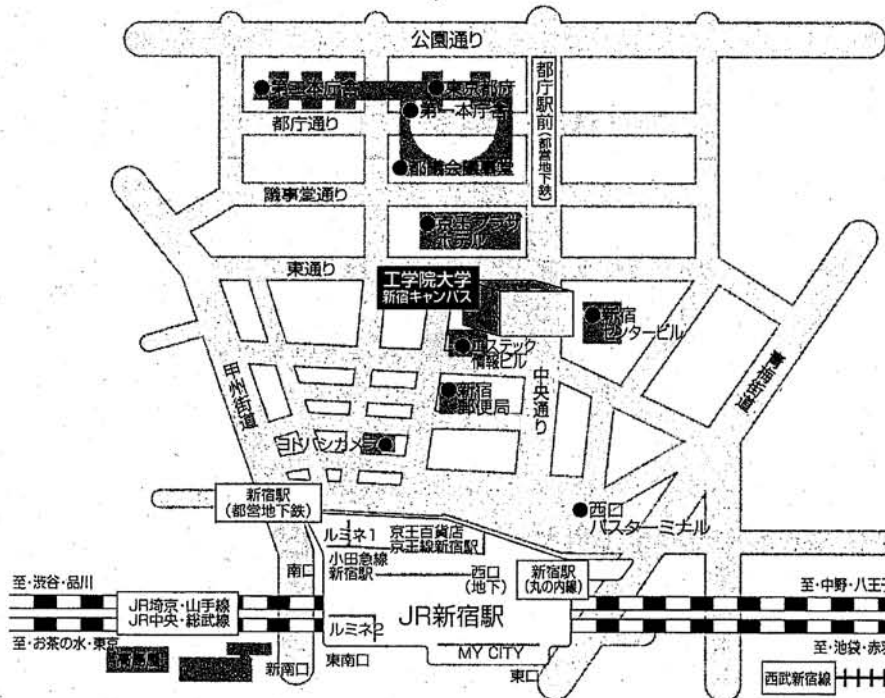
1. 自社のキャッシュフロー計算書の作成
自社決算書をシミュレーターに入力して、キャッシュフロー計算書を作成し、現在の経営状況を確認する。
2. 経営状況の分析、改善目標の設定
キャッシュフロー関連指標から自社の経営状況を把握する。
キャッシュフローと経営事項審査の関係、バランスの取れた改善目標の設定、改善プロセスの策定。
3. 経済性分析の基本原則
経済性の比較原則、埋没原価、手余りと手不足、独立案と排他案
4. 資金の時間的価値と資本コスト
キャッシュフローの現価、年価、終価、正味現在価値、DCF法
5. 質疑応答

お申込み方法

- ・右記申込み書によりFAX (03-3555-2170)にてお申し込みください。
- ・折り返し、受け付けた旨をFAXにて送信いたします。
- ・定員に達した場合などで、お申込みが受け付けられなかった際は、ご連絡いたします。
- ・受講券は発行いたしませんので、当日会場受付にお出でください。

会 場

工学院大学28階 第1会議室



JR (山手線・中央線・埼京線)、
京王線、小田急線、地下鉄(丸の内線・都営新宿線)「新宿駅」西
口下車徒歩5分

問い合わせ先

社団法人東京建設業協会 セミナー係 (TEL (03) 3552-5656 FAX (03) 3555-2170)

〒104-0032 中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館5階

各種研修会等のご案内については、東建ホームページ (<http://www.token.or.jp>) に掲載しておりますのでご覧ください。